

# 感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症だけでなく、そのほかの感染症対策においても、手洗い、咳エチケット、マスクの着用は有効です。新型コロナウイルスの第2波を防ぐためにも、引き続き、感染症対策へのご理解とご協力をお願いします。

## 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

ドアノブや階段の手すり、スイッチなど、さまざまな物に触れることにより、自分の手にもウイルスが付着する可能性があります。

**外出先からの帰宅時、調理の前後、食事前**など、こまめに手を洗いましょう。

## 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する  
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで  
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに  
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを  
手でおさえる

くしゃみや咳の飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。

くしゃみや咳が出るときは、**周囲の人からなるべく離れる**ようにしましょう。

## 正しいマスクの着用

顔のサイズに合ったマスクを着用します。

鼻の形に合わせワイヤーを調整します。



顔とマスクの間に隙間ができないようにします。

あごの下までしっかり覆います。

ウイルスが付着している可能性があるため、マスクを外すときは、表面に触れないようにし、外したあとは手を洗うか、アルコール消毒をしましょう。

## こちら

### 沖縄市立郷土博物館

沖縄市立郷土博物館では、自然に関する調査も行なっています。今回は身近な自然の話題から「赤とんぼ」の話を紹介しますね。

6月に入り、「赤とんぼを見たぞ」という方も多いのではないでしょうか。沖縄でよく見かける赤いトンボは、本土で秋にみられるアカアカネとは違う種類で、アカアカネを含むアカネ属のトンボは沖縄にはいません。草むらによくとまっているのは、タイリクショウジョウトンボという種類で、3月から12月ごろまで見ることが出来ます。

もう一種、台風が来るようになると見る機会が増えるウスバキトンボも赤みを帯びるトンボです。沖縄では「カジフチダーマ」とよばれて、よく特徴をあらわしています。寒さが苦手な、沖縄本島の冬を越えることができません。全滅してしまいがちですが、毎年、もつと南で年を越したトンボが風につれてやってきて、沖縄で繁殖し、あちこちへ飛んでいきます。

他にも、濃いピンクのベニトンボや、ひとまわり大きいハネビロトンボなど、赤とんぼは何種かいますが、どれも秋だけみられる虫ではありません。沖縄の赤とんぼは、ほとんど年がら年中いるのです。  
(文書 刀欄)



ウスバキトンボ

タイリクショウジョウトンボ

